

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

支援会員・寄金 3,000円 (年額)  
\*会員には、本通信を配布します。



## 《写真説明》

＜卒業・修業のつどい＞

—3/16(土)Pm—

中3・4名、小6・2名の巣立ちと在校生に、一人ずつの内容が書かれた証書、オリジナルアルバム+祝辞・

## INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマントラスト (協賛広告)
- p3: ↓/実践、普及、活動、年次会費納入など
- p4-5: 3/16「つどい」
- p6: ↓3学期/作品紹介
- p7: 「教育大学生の実習」
- p8: エッセー、カレンダー、後記  
[チラシ: 4-5月取り組み、他]

## 世の動きと自由な小学校づくり

認定NPO 法人理事 細田孝哉

3月26日に公表された、2020年度から小学校で使われる教科書の検定結果では、「主体的・対話的で深い学び」や「プログラミング教育」が取り入れられた影響で、英語を除く教科書のページ数が平均10%増となりました。ますます詰め込みとなる教育内容。そして、その対応に忙殺される学校現場。子どもたちを置き去りにして、競争社会からの要求ばかりに追従する教育の現状です。

一方、世の動きに目を向けると、グローバリズムの破壊性(自然、環境、地域、人々の生活など)を身体が受けつけなくなり、持続可能な社会を模索する生き方を選択する人が増えてきているという現象があります。そんな動きの中で、これまでの知識貯蓄型人間を大量生産する教育システムを拒絶し、真っ当な人を育てる自由な教育・学校を模索する子どもたちや親たちの動きが確かなうねりになっている実感\*があります。 \*昨年来の学校づくり集会の参加者約400名、賛同署名は2,500筆に到達

さて、先日「きのくに子どもの村学園」の堀真一郎さんから突然自分の携帯に連絡がありました。この4月開校する長崎の小学校に札幌から入学希望者がいるとのことで、北海道での開校めどはどうですか、とのことでした。今、札幌近郊の自治体と廃校舎貸与を交渉中で、何とか最短で2021年春開校を実現したい、と伝えました。「決起集会には行きますよ」と激励をいただき、進行中の交渉を着実にして、4月からは資金集めに入り、秋の認可申請へと、学校づくりを前進させたい、と改めて意を強くしました。 [筆者は高校教師、「仮称ゆきのさと小学校をつくる会」の代表です]